# 川西市立総合医療センターの実施設計について

## 1.施設概要

・<u>敷地面積</u> : 11,250.91㎡・建築面積 : 7,126.78㎡・延床面積 : 36,508.40㎡

・構造:鉄骨造(RCST+一部S造)地上9階建て

·<u>病</u> 床 数:405床

・想定患者数:入院:約370人/日 外来:約900人/日

診療科目 : 28診療科

内科、総合診療科、循環器内科、腎臓内科、消化器内科、 呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、外科、 呼吸器外科、乳腺外科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、 リハビリテーション科、皮膚科、形成外科、神経内科、 精神科、脳神経外科、麻酔科、産婦人科、小児科、

泌尿器科、緩和ケア科、放射線科、病理診断科、救急科

・駐車・駐輪:車いす用駐車場 : 3台

駐輪場 :300台(一般用・スタッフ用合計)

## 2. 施設の特徴

# 「安心」と「信頼」のガーデンホスピタルの実現



## ・川西の豊かな自然を最大限に活かし

患者・スタッフ・まちを健康にする病院とします

- ・患者ファースト・多職種連携の医療環境を 動線短縮と動線分離の建築計画でサポートします
- ・**トリプルクロス全個室病棟**で 「患者の近くにスタッフが居られる環境」を整えます
- ・水害・地震・火災に強く、感染制御に配慮した 市民の拠り所として計画します
- 可変性とライフサイクルコストを重視した 持続可能な病院とします

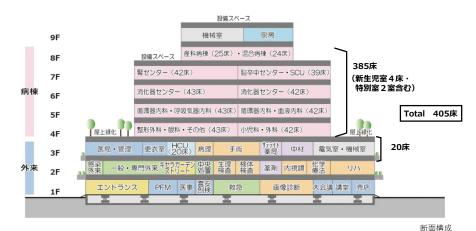
## 3.開院までの主な日程(予定)

· 令和2年10月~:病院本体工事 着工 · 令和4年05月~:病院本体工事 竣工

・令和4年09月~:川西市立総合医療センター 開院



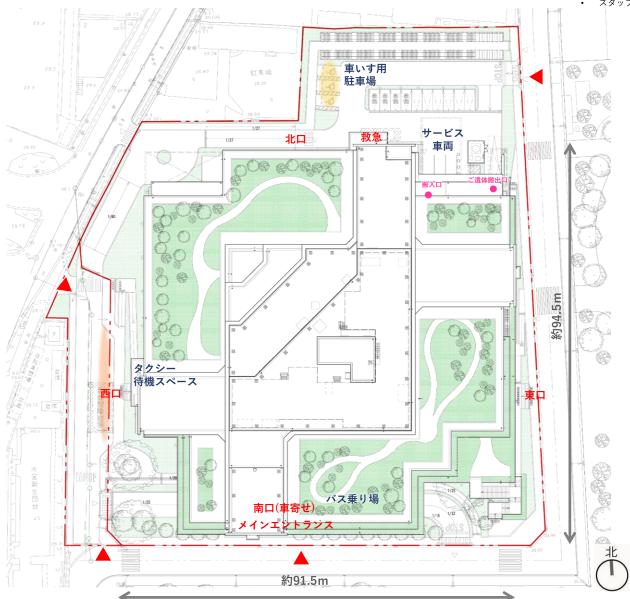
完成予想パース



四田(円)

## 【サービススペース】

- ・ 北東側にはサービス・搬入口を設けます
- サービス車両10台、救急車両4台、ご遺体搬送車両 1台用のスペースを確保します
- スタッフや患者用駐輪場は北側に集約配置します



サービス

救急

#### 4【画像診断エリア】

- 南北に延びる中央の廊下と救急エリア入口、スタッフELVホール、救急待合に面した位置に、放射線の受付を設けます
- 将来アンギオ<sup>1</sup>や一般撮影室を拡張できる スペースを確保します
- 時間外の患者は、中央の便利な位置に設けた救急待合で待機いただき、診察室、 一般撮影室、CTやMRI室に誘導します

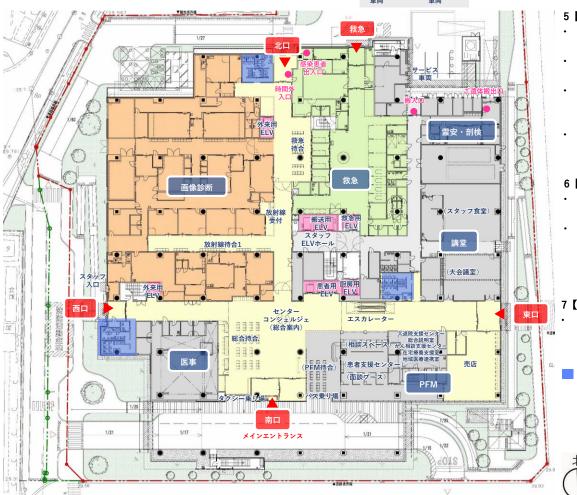
#### (用語の説明)

#### 1 アンギオ:

「カテーテル」と呼ばれる樹脂製の細い チューブを太ももや腕の血管から挿入し、 レントゲンで見ながら目指す血管の位置ま で先端を送り、中から造影剤を注入して写真に撮る方法

#### 3【西側入口(感染患者入口)】

- 西側の患者入口横にスタッフ入口を併設 します
- インフルエンザなどの感染疑いの患者が 増えてきた場合は、西側エントランスか ら案内し、外来用ELVにて2階の感染エ リアに案内できるようにします



## 2【車寄せ】

- 南側のメイン入口前には約60mの車寄せを設けます
- 車寄せには、バス停やタクシー待ちスペースを確保します
- 車寄せ部分は3車線分の幅を確保します
- 有効高さ3.8mを確保します

#### 1【エントランス・総合受付・PFM】

- 南側入口近くに総合待合を設けます
- 南側入口正面でクロス廊下の交点にセンターコンシェルジェを配置します
- 入って左手に初診会計等のカウンターを設け、カウンター付近に精算機、再来機を配置します
- · 入って右手にはPFM (患者支援センター) を配置します
- 使い勝手の検証の結果、PFMのプランを変更しました。オープンスペース、半個室、個室の相談スペースを使い分け患者の幅広いニーズに対応します。
- 中央のエスカレーターで2階外来エリアにアクセスできます

#### 5【救急エリア】

- ・ 建物北側に、時間外・感染・救急入口をそれぞれ分けて計画します
- 外来1~2階を結ぶ外来用ELVを設置します
- 救急入口から初療3室・処置4ベッド、個室を配置し、入口正面に救急搬送用ELVを設けた直線的な構成とします
- 救急待合は各方向からアクセスのしやすい 中央部に配置します

#### 6【講堂(スタッフ食堂・大会議室)】

- 公園に面した東側エントランスに面して講 学を配置します
- スタッフ食堂と大会議室は可動間仕切りで 仕切られており、開けることで講堂として 一体的に利用することが可能です(300人 程度が利用可能)

#### 7【東側入口】

公園に面した東側にも入り口を設けます (売店等を設置予定)





#### 3【内視鏡エリア】

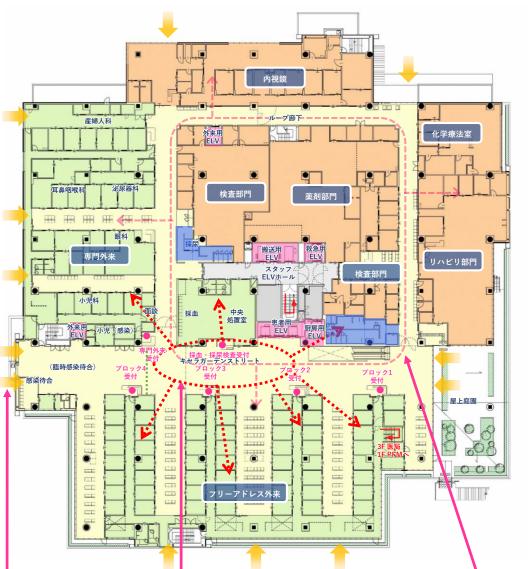
- 内視鏡エリアには5つ検査室と透視室、リカバリー12チェアーを配置します
- 内視鏡部門に隣接してELVを配置し、放射線
  エリアへの移動も行えます

#### 2【専門外来エリア】

- 小児科、眼科、耳鼻科、泌尿器科、産婦人科を配置します
- 産婦人科の中に専用待合、授乳室、WCを設け ます
- スタッフ通路を裏側動線で確保し、スタッフの移動がスムーズになるよう計画します
- 感染待合は、西側外来用ELVに近接して配置 し、その他の外来エリアと分離します
- 感染対応が増加する場合はキセラガーデンストリートの西側を臨時の感染待合エリアとして、エリアを分けることができます
- ※ 原則として、感染疑いの患者の外来診療は行いますが、院内感染及び重症化が予想される患者、感染が確定した患者の入院診療は行いません(感染が明確な患者の外来診療は行いません)

#### 1【フリーアドレス外来エリア】

- フリーアドレスを前提とした外来診察室を39 室配置します
- キセラガーデンストリートに面してブロック 受付を設けます
- スタッフ通路をつなげることで患者を動かさずに、スタッフが動き回ることができる計画とします



#### 4【化学療法室】

- 東側に面し、薬剤部門に近い位置に化学療法 室を配置します
- チェア5台、ベッド4台と個室1室を設けます

#### 5【リハビリテーション部門】

- 公園に面した位置にリハビリテーション部門 を配置します
- 南側にはリハビリにも活用できる屋上庭園を 設置します
- 外部階段を利用して、公園側にアクセスする ことが可能です

#### 6【検査部門】

- 採血・採尿検査受付はキセラガーデンスト リートに面して計画します
- 病棟から搬送用ELVで搬送された患者が、キセラガーデンストリートを通らずに、病衣のまま専門外来や検査部門にアクセスできます

## 7【薬剤部門】

- 薬剤部門はスタッフ用ELVに隣接した中央 部分に配置します
- 外来用トイレ

## ■自然光が差し込み、眺望に優れたオープンエンドの廊下

## ■「ワンストップ待合」と「どこでも待合」の運用が可能

- ・ワンストップ待合・・・外来と検査の中心に設置し、患者の移動を最小化
- ・どこでも待合・・・・スマホ等の端末を利用し、お好みの場所で過ごせる ようにします

## ■患者にとってわかりやすいメイン待合とループ廊下の計画

- 東西方向の伸びるメイン待合(キセラガーデンストリート)を配置します
- 各科を結ぶようにループ廊下を配置し、その中央に検査・薬剤部門を配置

4

## 2【手術室】

- オペ室7室と将来増築用1室分のスペースを 確保します
- オペエリアは、清浄度が高いエリアと日帰り オペがあるエリアとに分けて計画します

#### 3【HCU(高度治療室)】

- 手術室南側には、HCUを配置します
- HCU20床のうち、手術室側 6 床分は将来ICU (集中治療室) を見据えた計画とします。
- HCU入口側には、4床の見守り室を2室設けま
- 透析対応を5か所設置します

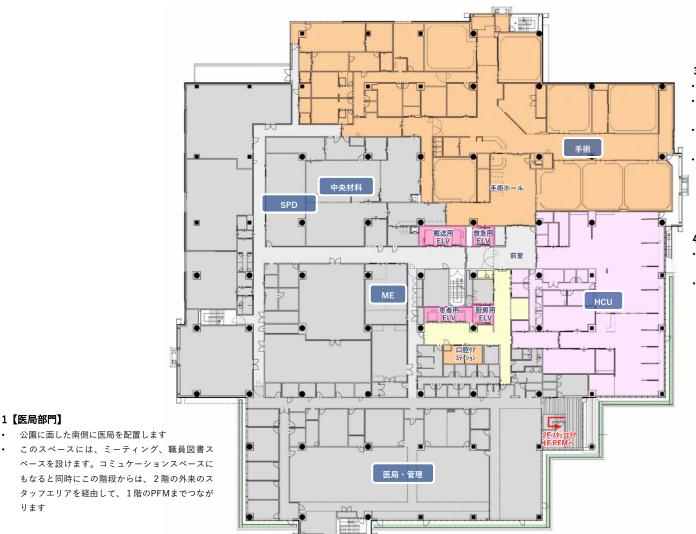
## 4【その他の諸室】

- 患者用ELVの付近に口腔ケアステーションを設け、 オペ前の口腔ケアなどが行えるようにします
- ELVに近い位置に中央材料室1、SPD2室やME3室 などの供給部門を配置し、物流搬送効率に配慮し た計画とします

#### (用語の説明)

- 1 中央材料室:
  - 院内の医療器材の洗浄・組立・滅菌等を 行っています。他に衛生材料の作成・管理、 SPDの納品物の検品などを行います
- 2 SPD (Supply Processing & Distribution): 物品(診療材料や薬品等)の標準化や物流・ 業務の効率化を図ることにより、購買管理・ 在庫管理・搬送管理・消費管理等を一元管理 する物流管理システム。
- 3 ME (Medical Engineer) :

臨床工学技士。病院で使用される医療機器の 保守・管理や、病気の治療に使用する医療機 器の操作を行う職種。



1【医局部門】

ります

#### 1【4~8階 病棟の考え方】

## ■トリプルクロス廊下の構成とし、動線を従来 病院比10%短縮

- 患者用クロス廊下で目届きを確保&見守り
- スタッフ用クロス廊下で、供給効率UP
- 病室の対面を避け眺望を重視
- リハビリやデイルームをコーナー部に設けます

#### ■看護師が少ない時間帯でも、目が届く 病棟計画

- 夜勤は、3人看護を想定
- 患者用クロス廊下の交点や、重症室前に 平行に配置したスタッフカウンターから 病室に目が届く環境を整備

## ■スタッフクロス廊下の交点にスタッフ諸室 を配置

 スタッフルームやカンファレンス看護準備室、 仮眠室 2 室、廃棄物保管庫なども設けます

#### ■患者用クロス廊下の交点に看護拠点を配置

- 清潔リネン、不潔リネン、排泄物処理スペース、 ストレッチャー置場を中央に配置します
- スタッフステーション前には見守りコーナーを 設けます

#### ■病棟浴室

・4階:介助浴室1箇所、ユニットシャワー1箇所

・5階:ユニットシャワー2箇所

・6階:ユニットシャワー2箇所

・7階:機械浴室1箇所、ユニットシャワー1箇所

・8階:ユニットシャワー3箇所

#### ■8階混合、産科病棟スタッフステーショ ンの変更

・ 運用の検証をした結果、 2 病棟1看護で合理的 な体制がとれるようにスタッフステーションをま とめます。



 7階から上は、日影規制の影響でセット バックします

 SCU<sup>1</sup>を 7 階に設けます。他のフロアでは 廊下であった部分を利用することで、ス タッフステーションからの目届きに配慮し た計画です

8階のみ2つの病棟を1病棟として計画しま す。北側に混合病棟と南側に産科病棟を設 けます

#### (用語の説明)

脳卒中集中治療室。 急性期の脳血管障害(脳梗塞・脳出血・く も膜下出血など) の患者を受け入れる専用

#### 3【8階 混合病棟】

- ・ 混合病棟には、特別室2室を含む24床 を設けます
- 南側にはリハビリコーナー、デイルーム を配置します

## 4【8階 産科病棟】

- 産科病棟には、LD<sup>2</sup>室3室と病床カウ ントする新生児室4室含め、合計29室 を設けます
- ELVホールに近い位置には交流ラウン ジを設けます

2 LD室(Labor Delivery 室): 陣痛、分娩を1つの室で行うことができるよ うにした室

## 1【病室イメージ図】

医療行為と見守りがしやすい個室病室

- 病室間口は3.1m 扉サイズは1.25mです
- 角のないユニットシャワートイレです
- ベッドの搬送や、ベッドサイドでの医療行為に配慮します

## 2【9階 厨房等】

- 9階は、入院患者用厨房や用度科のスペース、機械室、組合室兼倉庫等を設けます
- 厨房用ELVにより、食材搬入及び病棟への配膳と下膳を行います
- 搬送用ELVにより、時間帯を限定して食材の搬入と残飯の搬出を行います。清潔/不潔物品の 搬送はパッキングによる運用での対応とする計画です

